

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 菊池 隆
健福-34	実施事業	医療・保健関係団体支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
総合計画上の位置付け		分野	健康福祉
		施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	補助団体等
意図	補助団体等の活動促進のため。
効果	市民の健康衛生の水準を向上させる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ					・各年3月31日 (住民基本台帳)
人口	176,308人	176,436人	人口	176,608人	
世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	7,460	7,539	当初予算(千円)	8,100
	国県支出金	0	0	国県支出金	0
	地方債	0	0	地方債	0
	その他	0	0	その他	0
	一般財源	7,460	7,539	一般財源	8,100
	人員配置数	0.1	0.1	人員配置数	0.1
			会計年度任用職員配置数	0.0	
	人件費(千円)	788	810	人件費(千円)	813
事業経費運営	総事業費(千円)	8,248	8,349	総事業費(千円)	8,913
	市民1人当りの経費(円)	47	47	市民1人当りの経費(円)	50
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 (地域医療センター維持管理費負担金) 休日夜間急患診療所は、市民の健康に関する事業を行う場所であるため、今後も引き続き市の利用分を負担していく。(各種団体補助金) 市の財政状況を考慮しつつ、本市の保健衛生事業の充実に寄与する団体に補助金を交付する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	(地域医療センター)市が委託事業として実施している休日夜間急患診療所の開設場所であり、年間を通じて同診療所を開設したことで市民の健康と安心づくりに寄与したことから、様々な課題はあるが、今後も施設管理の現状を維持していく必要がある。 (各種団体補助金)各団体の取組は、市内の保健衛生活動の充実に寄与したことから、今後も現状を維持していく。(R1補助額 鎌倉市医師会:2,533,500、鎌倉市衛生協議会:1,800,000、鎌倉市歯科医師会:1,272,000、鎌倉市薬剤師会:78,000、鎌倉助産師会:71,000、鎌倉食品衛生協会:58,500、鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会:31,000)	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題 (前年度未解決の事項を含む)	(休日夜間急患診療所改修) 建物の老朽化に伴い、修繕が必要な箇所が今後増えると考えられる。 休日夜間急患診療所は、ゴールデンウィーク及び繁忙期(12月～2月)、年末年始の二科体制による診療に対応するため、レイアウトの変更について、引き続き検討を行う。
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	(休日夜間急患診療所改修) レイアウト変更を実施した。(これに伴い、負担割合が21%から25%に変更となった。)
未解決の課題、新たな課題とその理由	建物の老朽化に伴い、修繕が必要な箇所が今後増えると考えられるため、都度鎌倉市医師会と協議し修繕を行っていく必要がある。

- 解決
 一部解決
 未解決

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	医師会運営費補助金の有無							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	三浦市	逗子市	葉山町		
他市実績	○	×	○	○	○	○		

比較事項	歯科医師会運営費補助金の有無							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	三浦市	逗子市	葉山町		
他市実績	○	×	○	○	○	○		

比較事項	薬剤師会運営費補助金の有無							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	三浦市	逗子市	葉山町		
他市実績	○	×	○	×	○	○		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣では、補助金を出している市町が多く、鎌倉市でも引き続き運営費補助金の交付を行い、今後も保健衛生活動を充実させていく必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	維持管理費の削減(対前年比)	単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	前年度と該当年度の管理費を比較し、削減率を計上。
維持管理費の減額を図るため	目標値	—	1.0	15.0	15.0	5.0	5.0	
	実績値	—	0.2	12.1	-6.2	-0.4	-0.9	
	達成率	-	18.5%	80.8%	-41.4%	-8.0%	-18.0%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	昨年度よりも電気代、ガス代が減ったが、水道代が増えたため、昨年度とほぼ同水準となった。 (電気代、ガス代及び水道代:4月～翌年2月分) H30年度:2,184,104円 R1年度:2,164,286円(前年度比 -0.9%) LEDへの切り替えが進んでおり、これまでのように削減していくことが難しくなっていること、また地球温暖化やインフルエンザの流行等により空調代が増している傾向にある。
-----------------------	--